S5　クエンカ Cuenca

岩と雪 168 号に紹介されているので記憶にある方も多いだろう。クエンカはスペインのほぼ中心、マドリードから東へ約 170krn の所にある比較的大きな街である。車などで移動してくると赤茶けて乾燥した大地に突如として街があらわれる感じである。噂どうりたしかに岩場は無限にあり，岩に囲まれて街があるといった感じがする。しかし，開拓されている岩場は本当にごく一部である。開拓されているエリアは街から北側へ車で 15 分ほど行った所の川を挟んだ両側にある。しかしルートは写真やルート図で想像していたのと違い、いまいちだった(特に岩と雪のルート図の星マークはあてにならない)。というのもハングなども多いのだが、チッピングなども多く、ハングを乗り越してからのスラブが意外と悪い。
また何故か取り付きには大便が散乱しており、クライミングどころではないルートもあった。（スペイン人は平気で登っている）
実際かなりのハングした岩場が無限にあるが、あまりホールドとなるべきものがなく、登るためにはどうしてもチッピングをせざるをえない様なタイプの岩場に見えた。今後まだまだ多くのラインが開拓されると思われるが、おそらくナチュラルなラインではないだろう。

岩質
石灰岩

ルート
エリアはアルファーという土産物屋周辺の川を挟んで 2 個所に分けられる。まずアルファー側はどちらかと言うと垂直から薄かぶりのルートが多い。高さは平均 20m。日中はほとんど日向。これに対してアルファー対岸は 2km ほど行った橋を渡り林道を戻って来ることになる。林道を進むといきなりループやかぶった見栄えの良い岩場の下に着く。ここには 8a クラスが多く並んでおり雨が降っても問題ない。
午前中は日陰。ここよりさらに奥は車は通れない。林道をさらに歩いて行くと垂直のルートが点々と現れてくる。さらに奥には高さ 20m ほどの易しめの大スラブエリアに着く(上級者は行かないほうが良い)。グレードはかなり易しいような気がするが、ハングより垂直のほうが難しく感じた。またハングのルートの特徴としてビュークスのようにハングを超えてからのスラブが悪いルートもある。それからかなりドリリングしたホールドが多く中には下から上まで全部掘ったルートや人工ホールドが付いていたり終了点が吊り輪の様なもので終わっていたりするものもある。

宿泊
安ホテルは街にいくらでもある。キャンプ場はクエンカ周辺に幾つかあるが、私たちが泊ったのはアルファー対岸へ渡る橋を渡らずにそのまま 1km ほど行ったところにあるキャンピング、クエンカである。このキャンプ場は新築でトイレ，シャワーなどものすごくきれいだが少し高い（1 日テント 400、1 人 450、車 400 ペセタ。レストラン、売店、バンガロウ付き)。アルファー対岸の林の中にテントを張っている者もいたが一応禁止。私たちは初日夜遅くに付いた為キャンプ場がわからず岩場にいたスペイン人に進められたまま、岩の下でビバークした。

シーズン
私たちが訪れたのは 1995 年 10 月始めの約 1 週間である。途中夕立のような雨は降ったものの、天気は比較的安定していた。朝夕はちょうど良く日中は晴れると暑いくらいだった。しかし日向と日陰のエリアをうまく分けると良い。春と秋がベストシーズンと思われる。スペインと聞くと暖かいイメージがあるが、標高が高い為晩秋はかなり寒いと思われる。

ショッピング
クエンカの街には銀行やスーパーなどなんでも揃っている(郊外には大型スーパーもある)。マウンテンショップはない。トポはクエンカと題したものが発売されている。

アプローチ
マドリッドやスペイン各地からは地図どうりに来れば迷う事はない（スペイン中央部はアメリカの様な大陸的な所なので 1 本道で迷う事はない）。ただしクエンカの街はけっこうごちゃごちゃしている。

レスト
　クエンカじたいはたいして見る所がない街なのでレストランでスペイン料理でも食べるのが良い。また郊外はヒマワリ畑などが多くドライブに行くのもよい(郊外にも多くの岩場がありほとんど手付かず(中にはボルトが打ってある所もあった)。